



いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしくお願いたします。
書肆心水 FAX 03-6677-0682

他者のトポロジー

人文諸学と他者論の現在

岩野卓司 編 本体 6300 円 + 税

岩野卓司 (いわの・たくじ) 明治大学教授。東京大学大学院人文科学研究科仏語仏文学博士課程満期修了、パリ第4大学大学院哲学研究科博士課程修了。博士(哲学)。主著、『ジョルジュ・パタイユ』(2010年、水声社)、『贈与の哲学』(2014年、明治大学出版会)。訳書、デリダ『そのたびごとにただ一つ、世界の終焉』(共訳、2006年、岩波書店)等。

「現代思想」から人間学の一般理論へ

自己が自己であるために経由しなければならない他者性とは何か

人文諸学が前提としている「同一性」の自己崩壊を明るみに出す

- 岩野卓司 裸にすることは可能なのだろうか?……フロイトにおける「裸」、「記憶」、「転移」
- 若森栄樹 ラカンの「論理的時間」読解……共同体における間主観的「真理」について
- 関 修 性的差異という畏……セクシュアリティから見た他者
- 石前禎幸 イギリスのヤヌス
- 田島正行 「自然との和解」という欺瞞……『アンティゴネー』についてのヘーゲルの解釈をめぐって
- 大西雅一郎 様々な改宗あるいは転回、おそらくは深淵の上での
- 鈴木哲也 亡霊論あるいは歴史への参入……マイケル・ロングリーの『雪の記念碑』をめぐって
- 斉藤 毅 石原吉郎の詩における他者のトポロジー
- 山田哲平 トポスなきナショナリズムから他者としての身体へ……貫之論

● 編者序文より

「他者のトポロジー」の名のもとでわれわれが研究する分野は、各人それぞれの関心に応じて多岐にわたっている。哲学、精神分析、法律、政治、文学、美術の分野に縦横にクロスオーバーしている。最初のセクシオンでは、岩野卓司はフロイトの無意識を若森栄樹はラカンの無意識と共同体の真理の関係を、関修はクイア理論で有名なティム・ティーンの性的差異を扱っている。

次のセクシオンでは、石前禎幸はイギリスの法における女性の抑圧のテーマを扱い、田島正行はヘーゲルによる古代ギリシャのアンティゴネーの解釈における「自然との和解」を研究し、大西雅一郎の選んだテーマは、宗教の改宗をめぐるアイデンティティとそれに収まらないものである。

三番目のセクシオンでは、鈴木哲也はアイルランドの詩人マイケル・ロングリーの記憶の問題を「死者との対話」を通して追求し、斉藤毅はソ連で抑留された経験を持つ石原吉郎の詩の空間におけるトポスの問題を掘り下げて考察し、山田哲平は紀貫之の和歌における大陸にも日本にも属さない場を論じている。

新刊 注文取扱返条付(清藤)	取次番線印	他者のトポロジー 人文諸学と他者論の現在 岩野卓司編 ISBN978-4-906917-35-8 C0010 A5判上製・352頁・本体6300円+税	12月中旬刊 <small>ご発注分のみの配本です</small>
	お名前		

ご注文はJRCへ 03-3294-2177 すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。(了解者 JRC 後藤)